

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1		
	2	職員の配置数は適切であるか	10			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	5	1	常勤(3名)以外の職員が支援計画に目を通す機会が不十分でした。今後業務時間を15分間増やし、勤務時に毎回確認する時間を確保します。それを踏まえてスタッフミーティングで議論して職員が参画できるようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	9		今回初めての自己評価となるので、今後この評価を業務改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	6	2	平成31年(2019年)3月までに公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	5	2	NPO法人KIHONの監事を中心とした第三者委員会によって外部評価を行い、業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	5		アセスメントが十分とは言えなかったため、ミーティングで職員と議論してそれを踏まえながら支援計画案を作成し、担当者会議を経て支援計画を作成するよう業務改善しました。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	5	1	標準化されたアセスメントツールはありますが、職員で共有していませんでした。強度行動障害の研修で頂いた行動チェックシート、障害特性シートも併用してお子様の適応行動の状況を図るよう、業務改善を始めました。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	6		常勤の職員を中心にしています。ミーティングで議論したことをプログラムに反映させるよう努めていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	4	1	活動プログラムは今後も検討を続けて、固定化しないような工夫をしていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	2	きめ細やかな課題設定はまだ不十分です。お子様のアセスメントから、個別の課題を実践していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3	1	お子様の特性に応じて個別に対応するように努めています。集団活動は促しながら、お子様ができる範囲で参加するような体制です。計画は個別活動を中心に作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	5	2	打ち合わせの時間が十分に取れていません。今後は、打ち合わせ時間、支援内容、役割分担の確認を丁寧に行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	4	3	常勤の職員で行っています。今後、常勤以外の職員がその日の支援の振り返り、気づいた点の共有を行っていきます。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	3		正しい記録を取っています。今後一層、支援の検証・改善に努めていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	5	1	児童発達支援管理責任者がモニタリングに参加し、計画を見直しています。今後、職員全体での共通認識に努めていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	7		管理者がガイドラインを踏まえて基本活動を取り入れて支援していましたが、職員に周知していませんでした。今後職員全体でガイドラインの内容を意識しながら活動していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	7		これまでは児童発達支援管理責任者がサービス担当者会議に出席していました。平成30年度(2018年度)は事業開始から3年目を迎え、直接支援は様々な職員が行うようになってきました。平成30年秋からお子様の担当職員も担当者会議に参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	6		現在のところ、医療的ケアが必要なお子様は一人で、お母様を通じて、主治医・病院の看護師、作業療法士と連携をとっています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	2		新1年生として来所されるお子様の幼稚園や保育園に伺い、情報をいただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	6	1	平成31年の春、HIROキッズから2名のお子様卒業されます。平成31年2月に行われる担当者会議で、HIROキッズでの支援内容をお伝えする予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	2		八女市のリーベルネットワークに参加し、発達障害者支援センターあおぞら研修などに参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	1	クリスマス会の時の中学生の生徒さんとの交流があります。ドッグセラピー、近くのお屋敷の新年お祝いの会、六田祭り、イベントへの参加などで交流に努めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	3		現在のところ、不十分なので、今後検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	5		モニタリング時、送迎時、お電話、ラインなどのやり取りで、保護者様とお話しして共通理解を持つようにしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		10		保護者様に対して、ペアレント・トレーニング等の支援は不十分なので、今後努力していきます。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	5		HIROキッズをご利用いただくにあたっての契約時に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	1	保護者様の子育ての悩みに対する必要な助言と支援は不十分なので、今後努力していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7	3	保護者会に、2年間参加していました。HIROキッズでは1回開催しました。今後も検討していきます。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	3		お子様からの苦情に対しては、感情的な面などを考慮しながら、話しを聴きながら対応しています。保護者様からの苦情については、迅速かつ適切に対応するよう、常に努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	1	会報は1年間休みましたが、平成31年(2019年)2月号より再開しました。月に2回のイベントチラシを毎月お渡ししています。
	35	個人情報に十分注意しているか	10			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	3		お子様に対しても、保護者様に対しても、分かりやすくお話すること、お伝えすることに努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	3		地域の方々に活動を知ってもらって、地域に根差していけるよう、努めています。挨拶隊を結成して、地域の方々のお世話になっていますが、少しずつ発展させて、こちらからも何か地域の役に立つことができないか模索していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは作成していますが、職員や保護者様への周知が不十分でした。今後ミーティングで議題にして、周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	3		現在のところ、1年に2回の火災を想定した避難訓練を行っています。今後、他の非常災害を想定した必要な訓練も行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		月に2回行っているミーティングの中で15分間、虐待防止の手引きを中心に勉強しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	3		身体拘束は、お子様ご本人、他のお子様の方に危険が及ぶ恐れがあるときに拘束する旨を伝えています。職員に危険が及ぶ行為の時も拘束をします。平成30年より、支援計画に順次記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	6	1	食物アレルギーについては、保護者様から聞き取りをしています。食べてはいけないものについては、職員で周知しています。台所にお子様のお名前と食べてはいけない食材を記した用紙を貼って注意喚起しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	6	3	ヒヤリハット事例の集積が不十分です。今後日々の支援で感じたことを事例として記録していきます。